

鉱山とは何か？

- 秋田の鉱山史から探る人と鉱山の関係 -

講 師： 今井 忠男 先生
（放送大学客員教員・秋田大学大学院国際資源学研究科教授）
日 時： 月1回、時間割未定（ゼミ希望者と要相談）
場 所： 秋田学習センター講義室
形 式： 講義と演習
テキスト： 資料を配布

【主旨】 人類は、地球の鉱物を利用することで文明を築いてきました。すなわち、鉱物を採取する場所が鉱山であり、鉱山は人類の文明と共に現在まで、数多く存在し続けています。一部の人類にとっては、文明発展や鉱山開発は目的ではなく、衝動なのかも知れません。本ゼミでは、このような鉱山の本質について、秋田の文明と鉱山の歴史から探って行きたいと考えています。

【内容】

- (A) 次のような人類の歴史を鉱山の視点から考える
洞窟画、塩、石器・土器、貨幣、銅・鉄、
漆喰・コンクリート、火薬、肥料、風車・水車、産業革命
- (B) 秋田の歴史を鉱山の視点から考える
- ① 院内銀山と湯沢・角館地域
 - ② 阿仁鉱山と阿仁川・米代川流域そして仙北地域
 - ③ 太良鉱山と藤琴川流域
 - ④ これら3つの鉱山が連携し発展する秋田藩



以上

※参加希望の方は事務室へお申し込みください。
放送大学秋田学習センター
電話 018-831-1997